

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## 目 次

<b>1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況</b>	
(1) 学生の確保の見通し	1
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	1
<b>2. 人材需要の動向等社会の要請</b>	
(1) 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	2
(2) 社会的，地域的な人材需要の動向等を踏まえたもの であることの客観的な根拠	2



## 1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

### (1) 学生の確保の見通し

#### 1) 定員充足の見通し

当初、保健学科に新たな専攻を設置する計画でアンケート調査を実施した。

しかし、弘前大学内における検討の途中、新たな学科（心理支援科学科）を設置する方向で検討を進めていくことにしたが、設置の趣旨は専攻設置を検討した当初と同じであるので、当初のアンケート調査結果を読み替えることで対応した。

その結果は、次のとおりであった。

平成 30 年 6～8 月、弘前大学医学部心理支援科学科の設置について、上述アドミッションポリシーに基づき、入学を希望する学生を受け入れることを説明し、青森県内の進学校、特に本学への進学校計 10 校の現在高校 2 年生のうち、各校文系 50 人・理系 50 人計 1,000 人にアンケート調査を実施、820 人（回答率 82%）から回答を得た。

（資料 1 及び資料 2）

なお、平成 30 年 6 月、青森県臨床心理士会を通じて、社会人入学に関するアンケート調査を実施したが、入学希望者は無かった。

この結果を勘案すると、医学部心理支援科学科に設定する入学定員 10 人は、充足する見通しである。

#### 2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

医学部心理支援科学科設置に向けて、入学定員 10 人の充足の見込みを調べるため、青森県内の進学校、特に本学への進学校計 10 校の現在高校 2 年生のうち、各校文系 50 人・理系 50 人計 1,000 人を対象にアンケート調査を実施し、820 人（回答率 82%）から回答を得た。

その結果は、次のとおりであった。

- ① 心理支援科学科の設置への関心度を尋ねたところ、「関心を持った」及び「少し関心を持った」が 614 人(76%)であり、関心度が高かった。
- ② 心理支援科学科への進学意向について尋ねたところ、「ぜひ進学したい」33 人(4%)であり、本学が予定している入学定員を十分充足することが判った。
- ③ 進学理由について尋ねたところ、「興味がある分野だから」74 人(44%)と一番高く、「学べる内容やカリキュラムが良さそうであるから」28 人(17%)及び「将来就く予定の職業や就職予定の企業・団体等に有利そうであるから」25 人(15%)が次に高いことから、将来に向けた進学意欲が高かった。

以上により、心理支援科学科は、設置の趣旨に沿って、入学定員を充足し学生を確保する見通しがあることが示された。

### (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

現在、本学部学生に対して、本学の入学料・授業料免除制度（資料 3）、本学独自の入学料免除制度「ゆめ応援プロジェクト」（資料 4）並びに本学への寄附金を活用した給付型奨学金制度の「岩谷元彰弘前大学育英基金」（資料 5）及び「弘前大学基金「トヨペット未来の青森県応援事業」（資料 6）を活用し、本学部学生のうち、延べ 256 人に対して 55,632 千円（平成 30 年度実績）の経済的支援を行っている。このほか、学生

寮の寄宿料免除等による住居支援，また，本学の業務補助による経済支援制度の「ワークスタディ」などの学生支援を行い，学生確保に向けた取組を行っている（資料7）。

今後，さらに，保健学科心理支援科学専攻への入学を促すため，ホームページの活用や進学説明会などを積極的に実施し，学生確保に向けた取組を行う。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

医学部心理支援科学科は，心理学及び臨床心理学などの専門領域に関する知識と技能に加え，医学及び保健医療分野などの基本領域に関する知識と技能，科学的思考力を有し，こころの問題を感受し，その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し，悩める人に寄り添い，心理支援職としての役割を通して地域住民の健康と福祉に寄与し，社会に貢献する地域のリーダーとなる人材を養成することを目的とする。

### (2) 社会的，地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

医学部心理支援科学科設置に向けて，平成30年12月に医学部保健学科卒業生の就職先のうち，道南，青森県，岩手県北部及び秋田県北部の医療機関及び地方自治体の教育委員会ほか関連機関など 144 機関にアンケート調査を実施し，69 機関（回答率48%）から回答が寄せられた。アンケート調査では，弘前大学の設置計画に対する評価，人材養成及び採用計画など各機関のニーズを調査した。

その結果を勘案すると，医学部心理支援科学科に設定する入学定員10人は，社会的，地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることが確認され，概ね客観的な考察に十分に耐えるものと判断される。（資料8及び資料9）

その結果は，次のとおりであった。

- ① 心理支援科学科の設置について尋ねたところ，64 機関（93%）が評価できるとの回答があった。
- ② 将来の大学院修了者を含めて，心理支援科学科を卒業した者の採用の意向について尋ねたところ，18 機関（28%）が採用に意欲的であった。  
内訳は，医療機関13機関，教育委員会3機関及び保健センター・保健所2機関であった。
- ③ 毎年何人程度の採用予定があるのかについて尋ねたところ，9機関から回答があり，1～2名8機関，3～4名1機関，合計毎年11～20人程度の採用予定者数があることを確認した。また，毎年，人数は未確定であるが採用を考える機関が10機関あり，これを加えると十分な需要があった。  
なお，毎年採用予定人数があると回答した9機関は，次のとおりの状況であった  
ア 回答機関の内訳は，医療機関7機関，教育委員会1機関及び保健センター・保健所1機関であった。  
イ 回答機関の地域別の内訳は，青森県内8機関（青森市2機関，弘前市2機関，八戸市2機関，三沢市1機関，つがる市1機関），北海道函館市1機関であった。
- ④ 以上の状況を考察すると，地域の課題に示したとおり，青森県が，医療機関や教育・福祉機関等に心理支援職が圧倒的に不足している現状を踏まえての人材需要の

回答であると考えられる。

- ⑤ 医療機関や教育機関の心理支援職を採用するための募集要項を確認すると臨床心理士や公認心理師などの資格取得者を必要とする機関が多い状況である。

この状況を考察すると、大学院修士課程を修了し、心理支援職の資格を取得した者や心理支援職としてある程度の経験がある者を採用したい傾向があると考えられる。

今後、医学部心理支援科学科を卒業し、このあと設置される予定の大学院修士課程を修了して、心理支援職の資格を取得する者への人材需要がより一層増えると考えられる。

以上の状況をもとに社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえて考察した場合、現状においては入学定員 10 人が適切と判断した。

以上のことから、心理支援科学科が養成する人材像は、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることが判明した。



## 学生の確保の見通し等を記載した書類（資料編）

### 目 次

資料1	学生確保の見通し（高校2年生へのアンケート調査の結果）	1
資料2	高校2年生へのアンケート調査票	4
資料3	弘前大学学部学生への経済的支援について	5
資料4	弘前大学ゆめ応援プロジェクト募集要項	6
資料5	岩谷元彰弘前大学育英基金の設立及び運用等に関する規程	8
資料6	弘前大学基金「トヨペット未来の青森県応援事業」に関する要項	9
資料7	弘前大学独自の学生支援	10
資料8	人材需要の動向等社会の要請 （北海道，青森県，岩手県及び秋田県の機関へのアンケート調査の結果）	11
資料9	北海道，青森県，岩手県及び秋田県の機関へのアンケート調査票	13





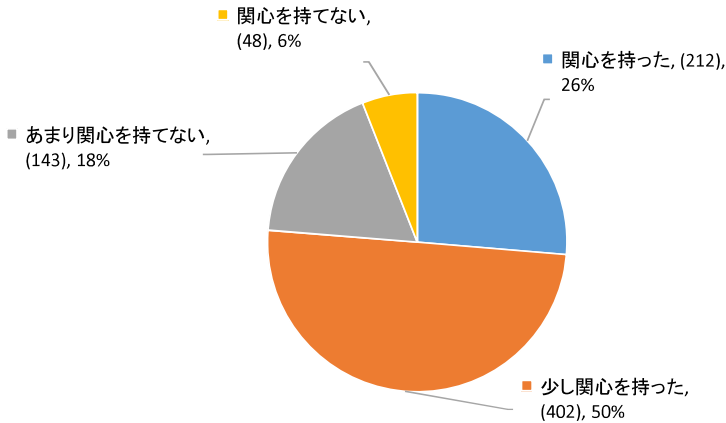
## 【資料1】 学生確保の見通し(高校2年生へのアンケート調査の結果)

### 【結果のまとめ】

弘前大学が計画している医学部への新たな学科である心理支援科学科(学士課程)に対する学生確保の見通しを調べるため、青森県内の進学校、特に本学への進学校計10校の現在高校2年生のうち、各校文系50名・理系50名計1,000名にアンケート調査(平成30年6~8月)を実施し、820名(回答率82%)から回答を得た。

その結果は、次のとおりであり、医学部心理支援科学科は、設置の趣旨に沿って、入学定員を充足し学生を確保する見通しがあることが判明した。

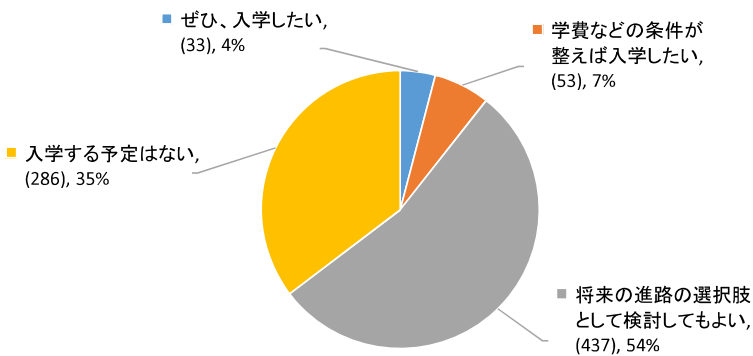
問2 新たに設置する医学部保健学科臨床心理学専攻について、関心を持ちましたか。



#### 【分析】

➤心理支援科学科の設置への関心度を尋ねたところ、「関心を持った」及び「少し関心を持った」が614名(76%)であり、関心度が高かった。(問2)

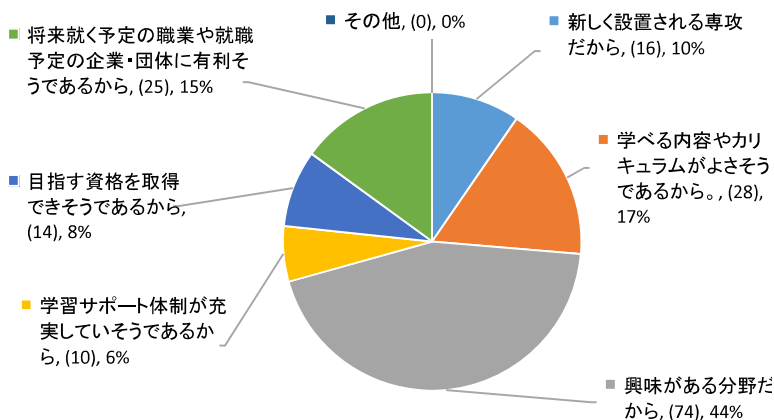
問3 あなたは、医学部保健学科臨床心理学専攻に入学したいと思いますか



#### 【分析】

➤心理支援科学科への進学意向について尋ねたところ、「ぜひ進学したい」33名(4%)であり、本学が予定している入学定員は十分充足することが判った。(問3)

問4 問3で1,2を選択した理由



#### 【分析】

➤心理支援科学科への進学理由について尋ねたところ、「興味がある分野だから」74名(44%)と一番高く、「学べる内容やカリキュラムが良さそうであるから」28名(17%)及び「将来就く予定の職業や就職予定の企業・団体等に有利そうであるから」25名(15%)が次に高いことから、将来に向けた進学意欲が高かった。(問4)

回答は、該当する番号に○を付けてください。また、必要に応じて記述欄に記入願います。

**問1** 専攻と性別について、該当する番号を1つ選んで、○を付けてください。

- (1) 専攻： 1 文系            2 理系  
(2) 性別： 1 男性            2 女性

**問2** あなたは、前頁の説明文を見て、新たに設置する医学部保健学科臨床心理学専攻について、関心を持ちましたか。最も当てはまる番号を1つ選んで、○を付けてください。

- 1 関心を持った    2 少し関心を持った    3 あまり関心を持ってない    4 関心を持ってない

**問3** あなたは、新たに設置する医学部保健学科臨床心理学専攻に入学したいと思いますか。最も当てはまる番号を1つ選んで、○を付けてください。

- 1 ぜひ入学したい（問4へ）  
2 学費などの条件が整えば入学したい（問4へ）  
3 将来の進路の選択肢として検討してもよい  
4 入学する予定はない

「4 入学する予定はない」の場合は、できれば理由もお知らせください。

**問4** 問3で「1 ぜひ入学したい」又は「2 学費などの条件が整えば入学したい」を選択した理由について、次の中から該当する番号を全て選んで、○を付けてください。

- 1 新しく設置される専攻だから  
2 学べる内容やカリキュラムが良さそうであるから  
3 興味がある分野だから  
4 学習サポート体制が充実していそうであるから  
5 目指す資格を取得できそうであるから  
6 将来就く予定の職業や就職予定の企業・団体等に有利そうであるから  
7 その他

「7 その他」は、具体的に記載願います。

**問5** あなたが希望している高校卒業後の進路について、最も当てはまる番号を1つ選んで、○を付けてください。

1 4年制大学進学      2 短期大学進学      3 専門学校進学      4 就職

5 その他

「5 その他」は具体的に記載願います。

**問6** あなたが希望している進学先での興味を持っている分野について、最も当てはまる番号を1つ選んで、○を付けてください。

1 人文学                      2 法学・社会学                      3 経済学・経営学

4 工学                          5 理学                                  6 農学

7 教育学・保育学              8 医学                                  9 歯学

10 薬学                          11 看護学                              12 保健衛生学

13 医療技術学                  14 その他

(具体的に記載願います)

**問7** 新たに設置する医学部保健学科臨床心理学専攻に対する、ご意見・ご要望等がありましたらお寄せください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました。 ◆◆

## 弘前大学医学部保健学科臨床心理学専攻設置についてのアンケート調査

## 【高校 2 年生対象】

まず、こちらの説明をお読みください。

弘前大学は、“世界に発信し、地域と共に創造する”をスローガンとし、教育・研究の成果の社会還元としてのイノベーション創出と人材育成を通して、地域活性化の中核的拠点となることを目指しています。

さて、平成29年9月に公認心理師法が施行され、こころの健康の保持増進に寄与する公認心理師(※)の資格が定められました。

この法律の施行に伴い、弘前大学では、**青森県の心理支援職養成を推進**するため、医学部保健学科に**公認心理師の国家試験受験資格を取得**するための新たな専攻として臨床心理学専攻の設置について検討を進めています。

(※) 公認心理師：公認心理師は、国家資格です。受験資格は、**大学4年間・大学院2年間で心理学等に関する所定の科目を修めることにより得られます。国家試験に合格した者が公認心理師の国家資格を得て、心理カウンセラー等の業務を行うことができます。(心理支援職のなかで唯一の国家資格)**

一般に心理カウンセラー等の養成は、文系の学部・学科、大学院等で行われてきました。しかし、新しい国家資格である**公認心理師の学習科目は、文系の心理学のみならず、保健医療、医学、社会福祉等の分野が含まれ、文系・理系の枠を超えて様々な分野にわたります。**その活躍する場も、医療機関、産業保健(企業)、社会福祉施設、教育機関、司法機関、行政機関等が想定されます。

そこで、本学では、**精神保健学的視点を柱とし、多様な関係分野を網羅しての心理カウンセラー養成を行うために、医学部保健学科に新しい専攻を設置して、公認心理師養成に取り組む方向です。**したがって、**新設を検討している臨床心理学専攻(仮称)では、文系・理系を問わず青森県下の大学進学者の多い高等学校の2年生の皆様**に広くご関心をお持ちいただき、ご意見を伺いたいと考えております。このアンケートの結果は、今後のカリキュラム編成や就学支援、入試内容にも反映させる資料にいたしますので、文系・理系を問わずご協力をお願いします。

## 【卒業後に考えられる主な職】

教育機関ではスクールカウンセラー、医療機関では心理カウンセラー、企業では産業カウンセラー等のほか、警察、家庭裁判所及び少年鑑別所等司法関係並びに児童相談所等福祉関係機関などの心理専門職が考えられます。

- 臨床心理学専攻が育成する能力
  - ① こころの問題を総合的、多面的に理解する能力。
  - ② 心理援助に必要なコミュニケーション能力、課題探究能力。
- 臨床心理学専攻が育成する人材
  - ① こころの問題を解決できる人材。
  - ② 悩める人に寄り添うことができる人材。
  - ③ 社会に貢献できる人材。
- 臨床心理学専攻の教育課程の特色
  - ① 弘前大学全体で関係する教員が、心理カウンセラーとして必要な素養をゆっくと確実に育成します。
  - ② 弘前大学医学系の強みである脳神経科学による特色ある教育を展開します。

ご協力のほどよろしくお願ひいたします。  
弘前大学医学部保健学科臨床心理学専攻設置準備委員会

## 【資料3】 弘前大学学部学生への経済的支援について

### 【平成30年度実績】

研究科名	入学料			授業料			その他			合計		
	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)
人文社会科学部	9	3	423,000	392	358	83,852,700	17	7	1,084,000	418	368	85,359,700
教育学部	9	5	987,000	286	260	58,804,050	16	11	603,000	311	276	60,394,050
医学部医学科	4	2	423,000	74	68	16,074,000	12	5	85,000	90	75	16,582,000
医学部保健学科	8	3	564,000	263	243	54,115,800	19	10	952,000	290	256	55,631,800
理工学部	10	3	423,000	457	402	87,335,400	20	11	1,335,000	487	416	89,093,400
農学生命科学部	5	2	282,000	240	220	50,633,100	24	16	638,000	269	238	51,553,100
合計	45	18	3,102,000	1,712	1,551	350,815,050	108	60	4,697,000	1,865	1,629	358,614,050

### 【平成29年度実績】

研究科名	入学料			授業料			その他			合計		
	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)
人文社会科学部	12	8	2,115,000	414	401	89,344,650	16	9	752,000	442	418	92,211,650
教育学部	5	3	423,000	290	274	59,205,900	8	6	468,000	303	283	60,096,900
医学部医学科	0	0	0	84	72	15,940,050	14	10	170,000	98	82	16,110,050
医学部保健学科	7	6	1,269,000	276	253	55,589,250	15	9	935,000	298	268	57,793,250
理工学部	20	14	3,243,000	456	408	88,808,850	27	14	1,802,000	503	436	93,853,850
農学生命科学部	11	7	1,692,000	218	201	44,873,250	10	5	268,000	239	213	46,833,250
合計	55	38	8,742,000	1,738	1,609	353,761,950	90	53	4,395,000	1,883	1,700	366,898,950

### 【平成28年度実績】

研究科名	入学料			授業料			その他			合計		
	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)
人文社会科学部	26	13	2,820,000	449	419	89,880,450	12	5	451,000	487	437	93,151,450
教育学部	12	7	1,410,000	268	248	52,776,300	13	11	553,000	293	266	54,739,300
医学部医学科	3	2	564,000	88	78	16,877,700	17	13	221,000	108	93	17,662,700
医学部保健学科	14	6	1,692,000	268	249	53,312,100	19	13	770,000	301	268	55,774,100
理工学部	14	4	705,000	450	411	87,871,200	29	16	1,370,000	493	431	89,946,200
農学生命科学部	8	7	1,974,000	174	155	34,559,100	16	11	370,000	198	173	36,903,100
合計	77	39	9,165,000	1,697	1,560	335,276,850	106	69	3,735,000	1,880	1,668	348,176,850

### 【参考】制度別の免除の状況

制度名	平成30年度実績			平成29年度実績			平成28年度実績		
	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)	申請者	免除者	金額(円)
(1)学則による免除	1738	1550	348,770,550	1757	1,611	352,521,150	1738	1,563	334,430,850
(2)東日本大震災及び熊本地震による被災学生に対する免除	54	54	4,236,100	46	46	3,612,400	65	65	3,698,600
(3)卓越した学生に対する免除	6	6	1,607,400	6	6	1,607,400	6	6	1,607,400
(4)ゆめ応援プロジェクト				19	19	5,358,000	20	20	5,640,000
(5)岩谷元彰弘前大学育英基金	60	15	3,000,000	51	14	2,800,000	51	14	2,800,000
(6)トヨベツト未来の青森県応援事業奨学金	7	4	1,000,000	4	4	1,000,000			
合計	1,865	1,629	358,614,050	1,883	1,700	366,898,950	1,880	1,668	348,176,850

## **【資料4】 弘前大学ゆめ応援プロジェクト募集要項(平成31年度入学者)**

### **1. 目的**

本プロジェクトは、自分の夢を叶えるため本学への入学を希望しているにも関わらず、経済的理由により進学をあきらめなければならない環境にある学業優秀な者に対して、入学前に経済的負担を軽減することを確約し、優秀な学生の本学への進学を応援することを目的とします。

### **2. 内容**

入学料(282,000円)全額免除

### **3. 採用者数**

30名程度

AO入試Ⅰ・Ⅱ 15名程度

一般入試(前期日程) 15名程度

### **4. 申請資格**

次の①及び②を満たし、本学のAO入試Ⅰ・Ⅱ又は一般入試(前期日程)に出願を予定し、合格した場合は入学を確約する者。

① 平成31年3月に高等学校又は中等教育学校(以下「高等学校等」という。)を卒業見込みでかつ高等学校等調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

② 家庭の年間総所得金額が、弘前大学における授業料免除基準以下の者。

### **5. 申請書類受付期間及び結果通知日等**

○AO入試Ⅰ・Ⅱ受験者

申請書類配付開始：平成30年8月8日(水) オープンキャンパス

受付期間：平成30年9月3日(月)～9月28日(金)

提出期限：平成30年9月28日(金)必着厳守

結果通知日：平成30年10月26日(金)

○一般入試(前期日程)受験者

申請書類配付開始：平成30年10月17日(水) 学生課窓口配付(又はHPにてダウンロード)

受付期間：平成30年11月1日(木)～12月5日(水)

提出期限：平成30年12月5日(水)必着厳守

結果通知日：平成30年12月下旬

※ 申請結果は郵送いたします。

※ 申請書類はホームページにも掲載しています。下記より所定の様式等をダウンロードし、必要書類を添付の上、期限までに提出願います。

## 6. 候補内定者とならなかった場合

「弘前大学ゆめ応援プロジェクト」の申請者で候補内定者とならなかった場合も、通常の「入学料免除・徴収猶予」申請が可能です。

ただし、通常の入学料免除には、申請資格の特別な要件(入学前1年以内の家計支持者の死亡、風水害等)があります。選考の結果、免除許可となっても、予算の関係により半額免除となります。なお、入学料徴収猶予は、特別な要件がなくても申請可能です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で取り寄せてください。

## 7. 授業料免除

入学する年度の授業料免除については、通常の授業料免除申請をしていただき、選考の上、決定します。

授業料免除の決定時期は、前期が平成31年7月上旬、後期が平成31年12月上旬となります。ゆめ応援プロジェクト申請時と家計状況に大幅な変動がない場合は、全額免除又は半額免除となる予定です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で取り寄せてください。

## 8. 問合せ先

弘前大学学務部学生課 ゆめ応援プロジェクト担当 0172-39-3117(平日9時～17時)

## 【資料5】

○岩谷元彰弘前大学育英基金の設立及び運用等に関する規程

(平成22年9月28日制定規程第97号)

改正 平成24年2月1日規程第3号 平成29年9月8日規程第54号

(設立)

第1条 国立大学法人弘前大学(以下「本学」という。)に、岩谷元彰弘前大学育英基金(以下「基金」という。)を設立する。

(基金の額)

第2条 基金の額は、岩谷元彰氏からの寄附金及びその他の者からの寄附金並びにその運用による果実をもって充てる。

(目的)

第3条 基金は、本学学生に対する奨学支援等を行い、もって有用な人材を育成することを目的とする。

(事業内容)

第4条 前条に規定する目的を達成するため、次の各号に掲げる支援事業を行う。

- (1) 奨学に係る支援
- (2) その他基金の目的達成に必要な支援

(事業費)

第5条 支援事業に要する経費は、第2条に掲げる基金の額をもって充てる。

(運営・選考委員会の設置)

第6条 基金を運営するため、運営・選考委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(委員会の構成)

第7条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 理事(教育担当)
- (2) 教育委員会から選出された委員 若干名
- (3) 学務部長
- (4) 学生課長

(委員長)

第8条 委員会に委員長を置き、理事(教育担当)をもって充てる。

(委員会の開催)

第9条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(審議事項)

第10条 委員会は、基金の事業に関する次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 第4条に掲げる支援事業の実施に係る学生の募集及び選考に関すること。
- (2) 基金の運用に関すること。
- (3) その他基金に関すること。

(事業報告)

第11条 委員会は、毎事業年度終了後、基金の収支状況及び事業の実施状況を学長に報告しなければならない。

(事務)

第12条 この規程に関する事務は、学務部学生課が処理する。

(規程の改廃)

第13条 この規程を改廃する場合は、役員会の審議を経て学長が決定する。

(その他)

第14条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。



## 【資料6】

○弘前大学基金「トヨペット未来の青森県応援事業」に関する要項  
（(平成29年10月6日理事（教育担当）裁定））

### 第1 趣旨

この要項は、国立大学法人弘前大学基金規程（平成27年規程第135号）第3条第1号に規定する事業として実施するトヨペット未来の青森県応援事業（以下「事業」という。）に関し、必要な事項を定める。

### 第2 目的

事業は、第4に掲げる修学支援対象者に対し、修学支援金を給付し、もって弘前大学（以下「本学」という。）が青森県内に有用な人材を輩出することを目的とする。

### 第3 事業の額

- 1 事業は、青森トヨペット株式会社（以下「寄附者」という。）からの寄附金により実施する。
- 2 事業の額は、一の事業年度において100万円とする。

### 第4 修学支援対象者

修学支援対象者は、次の各号に掲げる要件を全て満たす者のうちから、第8に規定する選考により決定する。

- (1) 本学の学部学生（第1年次を除く。）であること。
- (2) 青森県内出身者であること。
- (3) 経済的理由により修学が困難であること。
- (4) 成績が優秀であること。
- (5) 本学を卒業後に青森県内に就職を希望していること。

### 第5 修学支援金

修学支援金は、1人につき25万円とし、一括給付とする。

### 第6 選考委員会の設置

- 1 修学支援対象者の選考のため、トヨペット未来の青森県応援事業選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置する。
- 2 選考委員会は、次に掲げる者をもって組織する。
  - (1) 理事（教育担当）
  - (2) 教育委員会委員のうちから理事（教育担当）が指名する者
  - (3) 学務部長
  - (4) その他理事（教育担当）が必要と認めた者
- 3 選考委員会に、委員長を置き、理事（教育担当）をもって充てる。

### 第7 募集

事業は、募集によって行い、詳細については別に定める。

### 第8 選考

- 1 選考は、別に定める方法により選考委員会が行う。
- 2 選考委員会は、選考結果を弘前大学基金運営委員会及び寄附者に報告するものとする。

### 第9 庶務

事業の庶務は、募集及び選考に係るものにあつては学務部学生課において、それ以外のものにあつては基金事務局において処理する。

### 第10 その他

この要項に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

## 【資料7】 弘前大学独自の学生支援

### ①入学料・授業料等免除

	弘前大学独自の奨学金等		
	申請者数	免除者数	金額(円)
平成28年度	71	34	5,920,000
平成29年度	74	37	6,638,000
平成30年度	67	19	4,000,000

#### 弘前大学独自の奨学金等の制度概要

制度名	概要
ゆめ応援プロジェクト	本学へ入学希望者のうち、経済的理由で進学できない学業優秀な者を対象に、入学前に入学料の全額免除を確約する制度。
岩谷元彰弘前大学育英基金	成績優秀等を条件に奨学金一人20万円、留学費用一人10万円を給付。
トヨベツト未来の青森県応援事業奨学金	青森県出身で青森県内に就職を希望する成績優秀で経済的支援を要する本学学生への給付型奨学金。

### ②学生寮

#### ○寮生数(4月1日現在)

	定員	寮生数
平成28年度	540	378
平成29年度	540	397
平成30年度	540	416

#### ○寄宿料免除

弘前大学基金修学支援基金からの支援により行っている。各期一人あたり15,000円の寄宿料免除を実施する。

	申請者数	免除者数	免除金額合計(円)
平成29年度 後期	76	12	180,000
平成30年度 前期	62	10	150,000

### ③ワークスタディ

本学の学部学生を本学の業務に補助的に従事させる「学内ワークスタディ」を実施することによって、学生の職業意識・職業観を涵養するとともに、経済的事情を抱える学生に対する一層の支援を行うことを目的として行っている。

	人数	執行額(円)	
			うち学内予算からの拠出額(円)
平成28年度	57	5,624,000	34,000
平成29年度	57	4,630,000	30,000
平成30年度	-	4,484,000	540,000

※平成30年度は執行予定額

### ④その他

#### ○100円朝食

青森県産の食べ物を知りながら、正しい食生活を習慣づけてほしい。また、朝食を摂って元気に試験に臨んでほしいという願いから、各期の試験期間10日間に100円で朝食を提供している。400円相当の朝食を100円で提供し、差額分の300円は本学が負担している。

	延べ人数	大学負担額 合計(円)
平成28年度	3,000	900,000
平成29年度	3,000	900,000
平成30年度	1,500	450,000

※平成30年度は前期のみ